

外務省所管 令和２年度補正予算（第１号）における「個別プロジェクトにイヤマークした任意拠出金」の成果目標一覧
（主にコンセプト・ノートに基づく暫定版）

（注意事項）

- ① 現段階の成果目標は、暫定的に外務省限りで作成したため、今後、相手国政府または国際機関等からの最新の情勢等に基づいた要請により、内容に変更が生じる場合がある。
② 追加予算額は「億円」単位とし、原則としてそれぞれ小数点第２位を四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 〔追加予算額の総合計〕	成果目標 （暫定版）
アジア、大洋州、中東、アフリカ、中南米等の途上国における感染拡大防止・予防のための支援	アジア、大洋州、中東、アフリカ、中南米等の途上国での新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、医療・保健従事者等への技術支援や医療・保健施設への物資支援等を実施している国際機関の活動を支援する。	国際連合児童基金 （ＵＮＩＣＥＦ） 〔合計：７５．０億円〕	新型コロナウイルス感染者数の増加が見込まれ、保健システムが脆弱なアフリカ、中東諸国等において、国連児童基金（ＵＮＩＣＥＦ）が実施する保健・衛生施設、病院、学校等に対する物資供与、保健従事者や自治体職員等への能力強化、感染症対処のための基礎知識に係る教育・啓蒙活動等の活動を支援することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び予防を図る。
		国際連合開発計画 （ＵＮＤＰ） 〔合計：７０．０億円〕	新型コロナウイルス感染症が拡大しているアジア大洋州、アフリカ、中東諸国等を対象に保健・医療物資等の供与や技術協力、コロナウイルス感染症拡大によって途上国で引き起こされる重大な社会的、経済的影響の抑制を進める観点から、途上国政府の分野横断的な管理及びコミュニティレベルでの対応体制の強化を支援する。
		国際連合プロジェクトサービス機関 （ＵＮＯＰＳ） 〔合計３２．０億円〕	新型コロナウイルス感染者の増加が見込まれ、保健システムが脆弱なアジア、中東諸国において、各国が喫緊に必要なとしている医療用器材や物資の供与といった緊急支援を実施することにより、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び予防を図る。
		汎米保健機構 （ＰＡＨＯ） 〔合計：３．０億円〕	日本企業の主要サプライチェーンが存在し、新型コロナウイルス感染症が拡大している中南米において、感染者の特定、検査体制の強化、感染者への対応の強化、ロジスティックス整備支援、リスクコミュニケーション支援に関わる機材供与や技術協力等を行い、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び予防を図る。
		アフリカ連合委員会 （ＡＵＣ） 〔合計：１．１億円〕	アフリカにおける新型コロナウイルス感染症対策に関し、アフリカ連合委員会（ＡＵＣ）の下部組織であるアフリカ疾病対策予防センターに対する機材整備及び技術支援を通じ、同センターの能力強化を図り、ひいてはアフリカにおける感染症拡大防止・予防に貢献する。
		国際連合パレスチナ難民救済事業機関 （ＵＮＲＷＡ） 〔合計：１．７億円〕	パレスチナ、ヨルダン、レバノン、シリアにおいて、パレスチナ難民患者の医療アクセスポイントに対する新型コロナウイルス等の感染症等の予防や対策として、医療従事者用の防護具や消毒剤等の物資供与を実施し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び予防を図る。
		アジア生産性機構 （ＡＰＯ） 〔合計：２．０億円〕	アジア生産性機構（ＡＰＯ）を通じ、新型コロナウイルス感染症の影響を軽減すべく、日本企業製品等を中心とした機材支援と技術研修を行うことにより、インドネシア、カンボジア及びベトナムにおいて現地中小企業の医療関連機材（診察ベッド、診察台等）の製造ラインの回復や農作物の安定供給網整備等を支援し、生産性の維持・向上を図る。
	ＩＡＥＡ事務局長からの要請を受け、ＩＡＥＡによる新型コロナウイルス感染症対策の国際的な取り組みを支援する。	国際原子力機関 （ＩＡＥＡ） 〔合計：４．９億円〕	本経費により、ＩＡＥＡの原子力由来の技術やネットワークを活用して、新型コロナウイルス感染症対策機材の供与や感染症の早期診断・検査能力の構築支援等を行い、ＩＡＥＡ加盟国の同感染症への対策能力を強化する。

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 [追加予算額の総合計]	成果目標 (暫定版)
	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、発展途上国において特に必要とされている保健衛生分野等の邦人専門家（15名）を、発展途上国にあるWHO、UNICEF、UNDP等の国際機関の現地事務所に通連ボランティアとして派遣し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策の策定と実施に従事させる事業。	国際連合ボランティア計画（UNV） [合計：1.0億円]	邦人専門家を発展途上国の国際機関現地事務所に派遣することで、その国・地域における新型コロナウイルス感染症拡大に伴う公衆衛生上の緊急事態への対処、社会的・経済的影響の軽減、コミュニティの回復等を支援する。
	新型コロナウイルス感染症に脆弱な途上国女性支援	国際連合女性機関（UN Women） [合計：5.0億円]	新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大に伴い、保健サービスや社会保障システムが脆弱な国において、更なる脆弱な立場に置かれる女性・女児に対して、保健・医療サービスへのアクセスの確保、雇用の拡充による生計手段の維持、心理社会的カウンセリングの実施等により、女性・女児の経済的・社会的安全の確保を図る。
	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、延期が決まったアジア海賊対策地域協力協定（ReCAAP）情報共有センター（ISC）の総務会の開催に必要な追加経費を支援するための緊急拠出。	アジア海賊対策地域協力協定 情報共有センター（ReCAAP・ISC） [合計：0.1億円]	新型コロナウイルスの感染拡大により生じたISCの資金不足を支援し、最高意思決定機関である総務会を着実に開催することにより、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う海賊対策の空白を防ぐ。これによって、日本の重要なシーレーンの航行の安全を確保する。
	今般の新型コロナウイルス感染症等の急激に鑑み、感染症対策に必要な医療用個人防護具（PPE）及び抗ウイルス剤等を、我が国からアジア欧州財団（ASEF）に供与した拠出金に基づき購入・備蓄し、開発途上国を含むアジア欧州会合（ASEM）参加国等からの提供の要請に応じて、迅速に提供するもの。	アジア欧州財団（ASEF） [合計：56.9億円]	日本及び日本経済との関係の深い開発途上国を含むアジア欧州会合（ASEM）参加国等における新型コロナウイルス感染症等の感染拡大に際して、これらの国々に対してPPE及び抗ウイルス剤等の備蓄物資を迅速に提供することで、感染拡大の深刻化を早期に抑止する。
	世界税関機構（WCO）へ任意拠出し、新型コロナウイルスの影響により、特に税関能力が低下している開発途上国税関向けに国内での研修プログラムを実施。①税関職員の防疫能力向上、②災害時の緊急支援物資受入れの税関手続き迅速化のための能力向上を図る。	世界税関機構（WCO） [合計：1.7億円]	①水際で感染のリスクの高い税関職員の防疫能力向上 ②緊急時の支援物資受入れ等、税関手続きの迅速化のための能力向上 ③グローバルサプライチェーンの安定性の確保により、日本企業の貿易及び海外事業を促進 ④緊急支援物資の受入れ体制を強化することにより、これらの国々の在留邦人の緊急時の生活環境を改善

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 [追加予算額の総合計]	成果目標 (暫定版)
	飢餓及び栄養状態の悪化により、新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大が強く懸念される貧困地域において、食料生産や栄養の指導、食料の流通の改善などの支援を行い、これらの地域における栄養状態や健康状態を回復する。	国連食糧農業機関 (FAO) [合計：1.2億円]	バングラデシュ国内における新型コロナウイルスの感染拡大に脆弱な地域において、感染拡大に備えた食料生産及び栄養の強化、フードシステムの改善のための緊急支援及び能力強化を通して、新型コロナウイルスの感染拡大防止及び食料安全保障の強化を図る。
	東南アジア諸国におけるヘルスケアシステムの整備支援	日・ASEAN統合基金 (JAIF) [合計：54.8億円]	感染症対策センター（仮）の整備、物資・機材の整備、人材育成等を通じて、東南アジア諸国において、ヘルスケアシステムの整備及び感染症対策能力の強化を図る。
	新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、Gaviの被支援国において、新型コロナウイルス感染症ワクチンが使用可能となった際にGavi被支援国へすぐに普及できるようにするため、また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止・予防のための支援を行う。	Gaviワクチンアライアンス [合計：55.0億円]	・新型コロナウイルス感染症ワクチンの完成に備えてのワクチン供給体制の強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保健システム（ワクチンを確実に届けるためのコールドチェーンの整備・流通網の改善等）の強化を図る。 ・Gaviのワクチン債や事前買取制度等の革新的枠組を通じた、新型コロナウイルス感染症ワクチンの開発の促進や普及の加速化に貢献する。 ・新型コロナウイルス感染症対策のための民間企業の知見とイノベーションの活用を促進する。（ロジスティクス、サーベイランス等の対策にそれらの知見やイノベーションの活用等）。